

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公開番号】特開 2016-152147 (P2016-152147A)
 【公開日】平成 28 年 8 月 22 日 (2016.8.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-050
 【出願番号】特願 2015-29439 (P2015-29439)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 4/24 (2006.01)

H 0 1 R 13/40 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 R 4/24

H 0 1 R 13/40 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 6 月 21 日 (2017.6.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 5 】

次に、本実施例の作用を説明する。ホルダ 10 と圧接端子金具 30 との組付けは、圧接端子金具 30 と電線 41A, 41B の圧接工程と並行して行われる。組付けに際しては、まず、第 2 ツイストペア線 40B を構成する 2 本の第 2 電線 41B を、下部振分けリブ 20 によって左右に振り分ける。このとき、撚り合わされている 2 本の第 2 電線 41B の隙間に、下部振分けリブ 20 の下端縁を割り込ませるようにする。そして、第 2 ツイストペア線 40B を上方へ移動させると、2 本の第 2 電線 41B が、次第に幅広となる下部振分けリブ 20の下部ガイド部 21 により、下部摺接面 22 に摺接しながら次第に互いの間隔を広げていく。そして、下部振分けリブ 20 を通過した 2 本の第 2 電線 41B は、夫々、取付け空間 15 内に収容される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 8 】

この後は、第 1 ツイストペア線 40A を構成する 2 本の第 1 電線 41A を、左右に振り分けながら、2 つの圧接部 34 に圧接する。このとき、2 本の第 1 電線 41A の隙間に上部振分けリブ 17 の上端縁を割り込ませるようにする。そして、第 1 ツイストペア線 40A を下方へ移動させると、図 4 に示すように、2 本の第 1 電線 41A が、次第に幅広となる上部振分けリブ 17の上部ガイド部 18 により、上部摺接面 19 に摺接しながら次第に互いの間隔を広げていく。そして、上部振分けリブ 17 を通過した 2 本の第 1 電線 41A は、夫々、取付け空間 15 内に収容される。